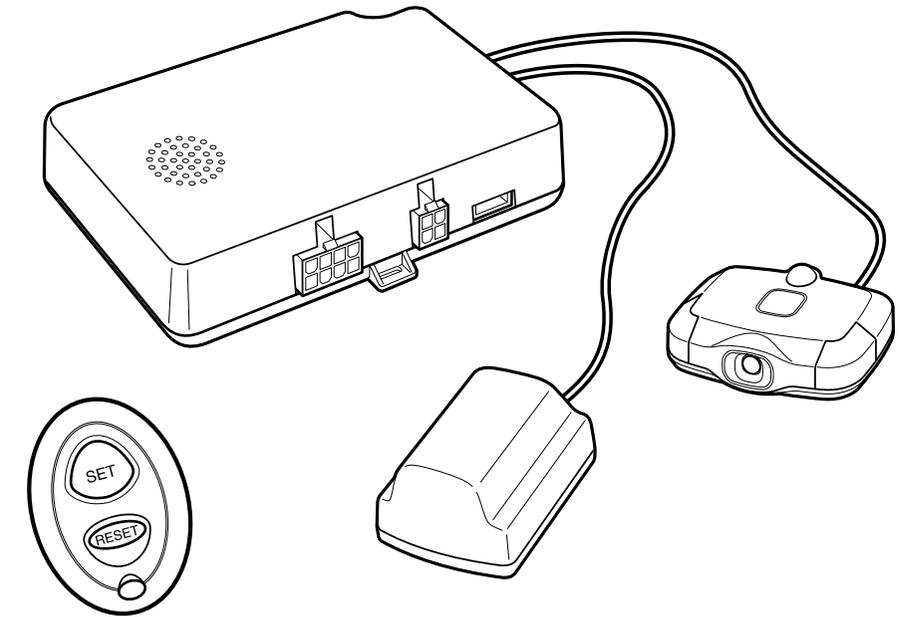




マイクロ波センサー搭載
レーダーセキュリティシステム

VE-S100

取扱説明書 / 保証書



12V車専用

このたびは、Aguilas「VE-S100」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。本機は、新開発デュアルエリアマイクロ波センサーを搭載したレーダーセキュリティシステムです。車輦への接近を検知するとフラッシュランプ・ハザードランプ・音声(または警告音)の3つの威嚇機能で不審者を撃退し、愛車を守ります。

デュアルエリアマイクロ波センサーは車外(警告)、車内(警報)2つのエリアを識別して、警告、警報の2段階で威嚇します。さらに、本機内蔵の音圧センサー(特許第3361294号)により、車輦への衝撃やドア開検知が可能です。

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、お読みになられたあとも、いつでも見られる場所に大切に保管してください。

また本機は、電波法第四条「技術基準適合証明を受けた無線局」および電波法施行規則第六条「特定小電力無線局」に該当する移動体検知センサー用無線設備です。



警告

取り付けには、専門知識が必要です。

取り付けは、お買い上げの販売店、またはカーディーラーにご依頼ください。
お客様ご自身で取り付けられた場合の保証は受けられません。

取り付けできる車を、お確かめください。

本機は12V車専用機器です。

12V車以外の車輦には取り付けできません。

また、12V車であってもマイナスアース以外の車ではご使用になれません。

はじめに

ご使用の前に(安全上のご注意)	4
セット内容	5
VE-S100の概要	6
オプション	7
異常を検知したときの警告と警報	8
各部の名称と働き	10
警告、警報の定義	12

操作方法

セキュリティを作動させる	13
警告音キャンセル機能について	14
セキュリティを作動させずに	
ドアをロックするには	15
セキュリティを解除する(警報を止める)	16
警報履歴	17

設定方法

セキュリティ機能の設定	18
■オールリセット	18
■操作確認を変更する	
・操作の確認方法	19
・確認音の音量	19
・確認音の音色	19
・ステータスインジケータの点滅設定	19
■警告・警報のしかたを変更する	
・威嚇方法	20
・ハザードランプの点滅設定	20
・警告音・警報音の音量	20
・警報音の音色	20
・警報時間	21
・誤動作判別精度	21
■セキュリティの作動に関する設定	
・セキュリティの作動を開始する条件	22
・スタンバイ時間	22
・エンジンスターター動作時の監視設定	30
■リモコンの追加	23
マイクロ波センサーユニットの感度調整	24
監視エリアの調整方法	24
リモコンの電池交換	25
スリープモードについて	26

その他

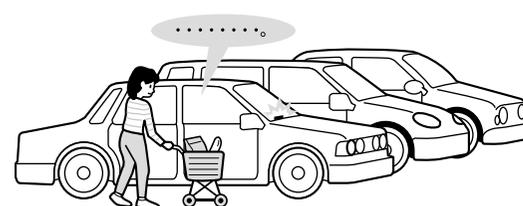
故障かな?と思ったら	27
別売オプションについて	28
仕様	29
アフターサービスについて	30
保証書	裏表紙

セキュリティを使う

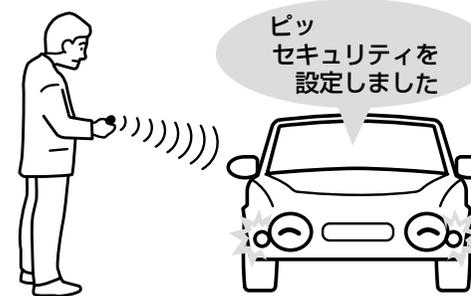
- セキュリティを作動させるには 13ページ
- 異常を検知したときは 8ページ



- セキュリティを作動させずにドアをロックするには 15ページ
- スーパーの駐車場など人の出入りが多い駐車場に駐車する場合は 14ページ
- 警報履歴を確認するには 17ページ
- リモコンの電池切れや故障などで、リモコンが使用できないときにセキュリティを解除するには 16ページ



操作確認を変更する



- 確認方法を変更する 19ページ
- 作動確認をボイスにする 19ページ
- 確認音の音量を変更する 19ページ
- 確認音の音色を変更する 19ページ
- ステータスインジケータを点滅させない 19ページ

警告・警報のしかたを変更する



- 威嚇方法を変更する 20ページ
- ハザードランプの点滅を変更する 20ページ
- 警告音・警報音の音量を変更する 20ページ
- 警報音の音色を変更する 20ページ
- 警報時間を変更する 21ページ
- 近所迷惑に配慮したワンショット警報に設定する 21ページ

車を整備に出すときや、人に貸すときは



..... 22ページ

ご使用前に(安全上のご注意)

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」、「注意」の2つに分けています。

- 警告:** 警告を無視した取り扱いをすると、使用者が死亡や重傷を負う可能性があります。
- 注意:** 注意を無視した取り扱いをすると、使用者が傷害や物的損害をこうむる可能性があります。

絵表示について

- ⚠ △ 記号は注意を促す内容であることを告げるものです。
- 🚫 ○ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。
- ❗ ● 記号は行為を強制したり、指示を告げるものです。

警告

- 🚫 水をつけたり、水をかけない。また、ぬれた手で操作しない…火災や感電、故障の原因となります。
- 🚫 コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しない。また、コードが傷んだら使用しない…感電やショートによる発火の原因となります。
- 🚫 運転中は絶対に操作をしない…わき見運転は重大事故の原因となります。
- 🚫 穴やすき間にピンや針金などの金属を入れない…感電や故障の原因となります。
- 🚫 機器本体および付属品や別売品を改造しない…火災や感電、故障の原因となります。
- ❗ 取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能(ブレーキ、ハンドル等)の妨げにならない場所に、確実に取り付ける…誤った取り付けは、交通事故の原因となります。
- 🚫 煙が出ている、変な臭いがするなど、異常な状態のまま使用しない…発火の恐れがあります。すぐに使用を中止して、販売店に修理をご依頼ください。
- 🚫 万一、ケースを破損した場合は、すぐに使用を中止する…そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因となります。
- 🚫 サービスマン以外の人は、絶対に分解したり、修理しない。また、改造はしない…感電や故障の原因となります。内部の点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。
- 🚫 車内に人(特に子供)やペットがいるときには、本機の設定をしない…万一、警報機能が働いた場合、大音量を発生しますので、聴覚障害やストレスを与える恐れがあります。

ご注意 使用上の制限

- 使用するときは、必ず車のウィンドウを完全に閉めてください。ウィンドウが開いていると、ドア開を正しく検知できません。
- 強い雨や雹(ヒョウ)などが降ったときや、雨だれが車体にかかっているときには、ウィンドウやボディへの衝撃を検知して警報する場合があります。また、地下駐車場など空調ファンの振動や音が発生している場所や、その他の振動や騒音が発生している場所では、本機のセンサーが動き、警報することがあります。このような場合は、センサー感度を調整してお使いください。
- 本機のリモコンは、ラジオの送信所やテレビ塔、NTTのアンテナタワーなど強電界となる付近では、通信範囲が狭くなったり、リモコン操作ができにくくなる場合があります。
- 車輻の窓ガラスにウィンドウフィルムが貼ってある場合、そのフィルムの材質によっては、接近検知ができなくなったり、感度が低下する場合があります。
- ウィンドウに雪が積もっていると、接近を検知できにくい場合があります。

ご注意 電波法について

- マイクロ波センサーユニット裏の技術基準適合証明ラベルをはがさないでください。はがして使用すると、電波法により罰せられることがあります。
- 海外では使用しないでください。
- 分解したり改造することは、電波法で禁止されています。改造して使用した場合は、電波法により罰せられることがあります。

ご注意 取り扱いについて

- リモコンに、落下などの衝撃を与えないでください。
- リモコンは簡易防滴構造ですが、水につけたり、雨水などで濡れたりすることのないようにしてください。
- リモコンは、お子様の手の届かない場所に保管してください。
- リモコンは、次のような場所に放置しないでください。
 - ・暖房器具の近くなど、温度の高くなる場所。
 - ・直射日光の当たる自動車内など、温度の高くなる場所。
 - ・湿度の高い場所や、風通しの悪い場所。
 - ・ホコリや油煙の多い場所。
 - ・非常に温度の高い場所。
 - ・電気製品などの近く。
- リモコンが汚れたときは、やわらかい布でふいてください。ポリエステルなど静電気の起きやすいもの、またベンジン、シンナー、化学ぞうきん、洗剤は使用しないでください。
- 高圧洗浄機の使用やエンジンルーム内の洗浄を行う場合は、ボイスユニットをビニールシートなどで覆ってください。

ご注意 スリープモードについて

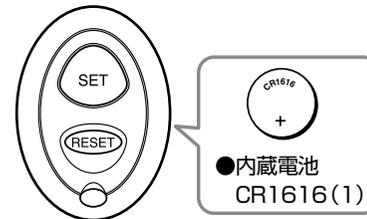
本機は、14日間エンジンが始動(ACC、またはONの検出)されないと、バッテリー保護のためスリープモードが働きます。スリープモードが働いているときは、監視、警報動作を停止して本機リモコンによるドアロック/アンロック操作ができなくなります。
 ※ 長期間、車を使用しない場合はセキュリティを解除しておくか、定期的にエンジンを始動して、車輻のバッテリー上がりにご注意ください。

本機を取り付けての盗難やイタズラに関する損害、車の故障や事故などの付随的損害の賠償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

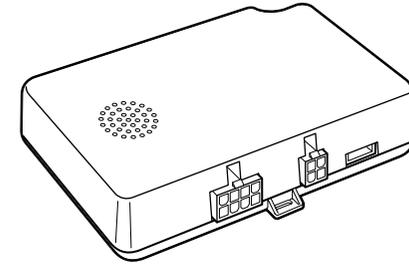
セット内容

接続前に、セットの内容をお確かめください。

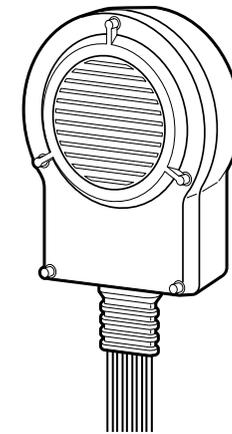
※ ()内の数字は個数を表します。
 ※ ワーニングステッカーは、自動車の前面ガラスおよび運転席の側面ガラスには貼り付けしないでください。(車輻の安全基準)



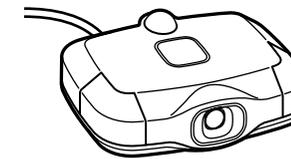
●リモコン (1)



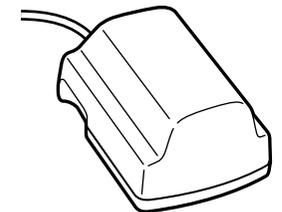
●メインユニット (1)



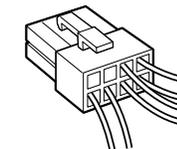
●ボイスユニット (1)



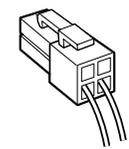
●フラッシュユニット (1)



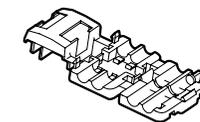
●マイクロ波センサーユニット (1)



●センサーハーネス1 (1)



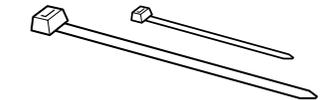
●センサーハーネス2 (1)



●エレクトロタップ (4)



●コードクリップ (3)



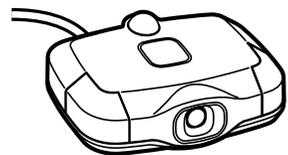
●タイラップ (大2、小5)

- キーレスエントリー線 (1)
- ドアスイッチ接続延長コード (1)
- エンジンスターター接続線 (1)
- センサーユニット取付用サンバイザークリップ (1)
- 調整ドライバー (1)
- リモコン用リング (1)
- フラッシュユニット取付用マジックテープ (1)
- ボイスユニット延長コード (1)
- ワーニングステッカー (1)
- 取扱説明書/保証書 (1)
- 取付・接続説明書 (1)

- ボイスユニット取付用付属品
 - ・ブラケット (1)
 - ・取付ステイ (1)
 - ・M6ボルトセット (2)
 - ・M5ネジ (2)
 - ・スペーサー (2)

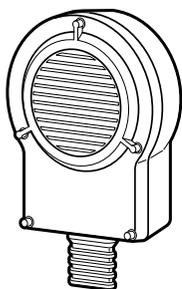
●フラッシュユニット

あたたかもカメラで撮影された印象を与えるフラッシュランプで威嚇します。



●ボイスユニット

最大100dBの大音量サイレンです。日本語で警告、サイレン音で警報します。

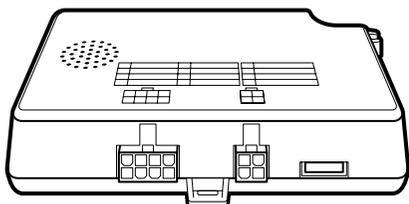


●ハザードアンサーバック・威嚇機能内蔵

セキュリティの作動・解除をハザードランプの点滅(1回/2回)でお知らせします。また異常発生時は、連続した点滅で威嚇します。
※セキュリティの作動・解除や異常検知時に車輦のハザードランプを点滅する/しないを選択できます。(20ページ参照)

●メインユニット(音圧センサー)

衝撃、ドア開を検知します。わずかな気圧の変化を検知して、マイクロ波センサーとの組み合わせにより、ドア開を検知します。また、車輦の小さな衝撃、大きな衝撃を判別して警告・警報します。



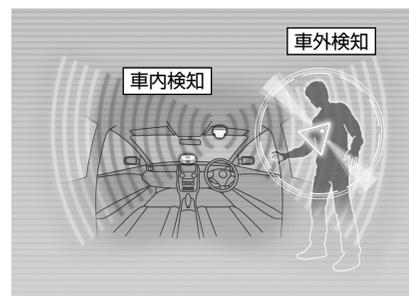
●キーレス機能内蔵

セキュリティの作動・解除と同時にドアロック・アンロックができます。
※車種ごとにコントロールが異なるため、接続できない場合があります。

●マイクロ波センサーユニット

不審者の接近、車内侵入を検知します。

本機デュアルエリアマイクロ波センサーは、総務省の定める、電波法施行規則第六条「特定小電力無線局」に該当する移動体検知センサー用無線設備の認証を取得した、優れた移動体検知センサーです。マイクロ波を利用したドップラー効果によって、センサー周辺(車輦周辺)の移動物を検知します。さらに、車内、車外の2つのエリアを個別に検知できるダブルガード方式を採用しました。内蔵のツインアンプにより、車内侵入、ドア開の検知で警報することはもちろん、車に近づく移動体を検知し、警告しますので、被害を受けずに犯罪を未然に防止できます。



オプション

別売オプションにより、さらにシステムアップできます。

検知能力をアップしたい

ジャッキアップやリフトアップされた場合にも警報を鳴らしたい場合は

●電子傾斜センサー：A-28SF

ボンネットを開けられた場合にも警報を鳴らしたい場合は

●ボンネットスイッチ：A-29SF

車内侵入を絶対に阻止したい！ 二重の安心には

●ドアスイッチ接続線セット：A-30SF

車輦盗難の対策もしたい

模造キーなどにより、エンジンの始動をできないようにしたい場合は

●無線イモビライザー：A-23SF

警報能力をアップしたい

さらに大音量で警報を鳴らしたい場合は

●大音量サイレン：A-26SF

さらに大音量で、万一のボイスユニットの破壊やサイレンの切断で警報を鳴らしたい場合は

●バックアップサイレン：A-27SF

2人で車をご使用されている場合に便利

付属のリモコンの他に、もう1つ(合計2個)リモコンを追加できます。

●リモコンの追加

※オプションについての詳しい内容は、28ページをご覧ください。

日頃から防犯をお心がけください

本機は、車に加えられた異常を検知して警告または警報する装置です。そのため、盗難やイタズラに対して常に万全ではありません。日頃から防犯をお心がけください。

- 1 エンジンキーをつけたままの状態、車から離れない。
- 2 車から離れるときは、すべてのドアがロックされていることを、必ず確認する。
- 3 駐車中は、すべてのウィンドウを完全に閉める。
- 4 車内に貴重品を置かない。貴重品でなくとも、目につく物はできる限り置かない。
- 5 駐車するときは、できるだけ「明るい」、「人通りのある」場所を選ぶ。

異常を検知したときの警告と警報

監視中に車輻への接近、衝撃、ドア開などの異常を検知したときには、次のような警告・警報をボイスユニットから発します。

※警報音は車室内のメインユニットとボイスユニットから鳴ります。



	車輻への接近 ※誤動作判別精度(21ページ参照)で「精度高」または「最高精度」を選択している場合は、接近検知があっても警告を鳴らしません。	車輻周辺でのうろつき	小さな衝撃	大きな衝撃 (ウインドウの破壊など)	ドアを開けられたとき	車内侵入	傾斜検知 (別売オプションA-28SF:電子傾斜センサー接続時)	ボンネットを開けられたとき (別売オプションA-29SF:ボンネットスイッチ接続時)
フラッシュランプ 	1回点滅 ※フラッシュランプを点滅させないこともできます。(「威嚇方法」20ページ参照)	2回点滅 ※フラッシュランプを点滅させないこともできます。(「威嚇方法」20ページ参照)	2回点滅 ※フラッシュランプを点滅させないこともできます。(「威嚇方法」20ページ参照)	警報中連続して点滅	警報中連続して点滅	警報中連続して点滅	警報中連続して点滅	
ハザードランプ 	※ハザードランプを点滅させることもできます。(「ハザードランプの点滅設定」20ページ参照)	※ハザードランプを点滅させることもできます。(「ハザードランプの点滅設定」20ページ参照)	※ハザードランプを点滅させることもできます。(「ハザードランプの点滅設定」20ページ参照)	警報中連続して点滅 ※ハザードランプを点滅させないこともできます。(「ハザードランプの点滅設定」20ページ参照)	警報中連続して点滅 ※ハザードランプを点滅させないこともできます。(「ハザードランプの点滅設定」20ページ参照)	警報中連続して点滅 ※ハザードランプを点滅させないこともできます。(「ハザードランプの点滅設定」20ページ参照)	警報中連続して点滅 ※ハザードランプを点滅させないこともできます。(「ハザードランプの点滅設定」20ページ参照)	警報中連続して点滅 ※ハザードランプを点滅させないこともできます。(「ハザードランプの点滅設定」20ページ参照)
警告音 	「ピッ」 「セキュリティがセットされています」 ※警告音を鳴らさないこともできます。(「威嚇方法」20ページ参照)	「ピピッ」 「接近を検知しました」 ※警告音を鳴らさないこともできます。(「威嚇方法」20ページ参照)	「ピピッ」 「衝撃を検知しました」 ※警告音を鳴らさないこともできます。(「威嚇方法」20ページ参照)	「ピピピッ」 「衝撃を検知しました。通報します」	「ピピピッ」 「異常事態発生」	「ピピピピッ」 「不法侵入を検知しました」	「ピピピッ」 「傾斜を検知しました。通報します」	
警報音 別売オプションA-26SF:大音量サイレンやA-27SF:バックアップサイレンを接続していると、付属サイレンの警報時にオプションの大音量サイレンやバックアップサイレンを鳴らし、より効果的な威嚇ができます。				「キューキュー」が30秒間 ※警報時間は、「ワンショット」「30秒」「60秒」「120秒」から選択できます。(21ページ参照)	「キューキューキュー」が30秒間 ※警報時間は、「ワンショット」「30秒」「60秒」「120秒」から選択できます。(21ページ参照)	「キューキューキュー」が30秒間 ※警報時間は、「ワンショット」「30秒」「60秒」「120秒」から選択できます。(21ページ参照)	「キューキューキュー」が30秒間 ※警報時間は、「ワンショット」「30秒」「60秒」「120秒」から選択できます。(21ページ参照)	「キューキューキュー」が30秒間 ※警報時間は、「ワンショット」「30秒」「60秒」「120秒」から選択できます。(21ページ参照)

※上記は、工場出荷時の設定での動作を示したものです。
 ※■は、警告音キャンセル機能を設定した場合の動作です。

リモコン (微弱無線式)

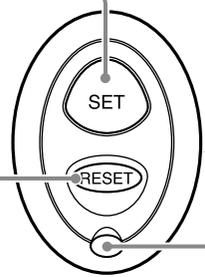
本機(セキュリティ)の作動や解除ができます。

●SETボタン

セキュリティを作動し、ドアをロックできます。
※一部の車種では、セキュリティの作動操作でドアロックができません。

●RESETボタン

セキュリティを解除し、ドアをアンロックできます。
※一部の車種では、セキュリティの解除操作でドアアンロックができません。



●電池カバー (背面)

●リング取り付け用穴

※リモコンの裏面シールは、はがしてご使用ください。

IDコピーガード機能 (特許出願中)

万一、IDコードをコピーされても不正なセキュリティ解除を防止する、IDコピーガード機能を内蔵しています。



マイクロ波センサーユニット (車載機)

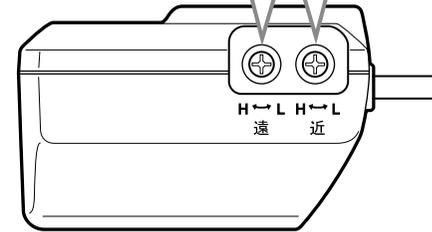
車外(遠)・車内(近)2つのエリア内での動きを検知します。

●車外検知調整ボリューム

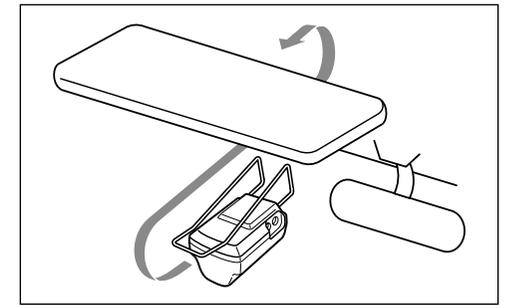
車種への接近やドア開を検知するための調整ボリュームです。

●車内検知調整ボリューム

車内侵入を検知するための調整ボリュームです。



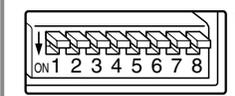
※マイクロ波センサーユニットの取り付け場所を変更したときは、検知エリアの調整が、再度必要となる場合があります。(24ページ参照)



※付属のサンバイザークリップで、サンバイザーに取り付けて使用します。
※右ハンドル車は助手席サンバイザー中央寄りに、左ハンドル車は運転席サンバイザー中央寄りに取り付けると、車外検知が左右均等に検知しやすくなります。

メインユニット (車載機)

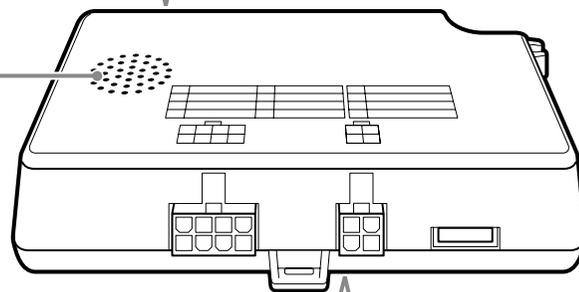
●ディップスイッチ



※取付店で設定します。
※工場出荷時はすべてOFF側に設定されています。

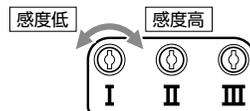
●ブザー

各種機能設定時の設定音やセキュリティの作動確認音などを出力します。



●音圧センサー (裏面)

ボディ、ウィンドウへの衝撃やドア開時のわずかな気圧変化を検出します。メインユニットの3つのボリュームでセンシングごとの感度調整ができます。



※取付店で調整します。
※通常のご使用では調整する必要はありません。

フラッシュユニット (車載機)

●ステータスインジケータ

スタンバイ時間 (13ページ) 中は速い点滅 (1秒間に2回) をします。監視中はゆっくり点滅 (2秒間に1回) します。また、各設定状態 (19~23ページ) や警報履歴 (17ページ) を点滅してお知らせします。

●MODEボタン

セキュリティを作動せずにドアをロックする場合や、警告音キャンセル機能を動かせる時に使用します。また、セキュリティ機能の各設定時にも使用します。

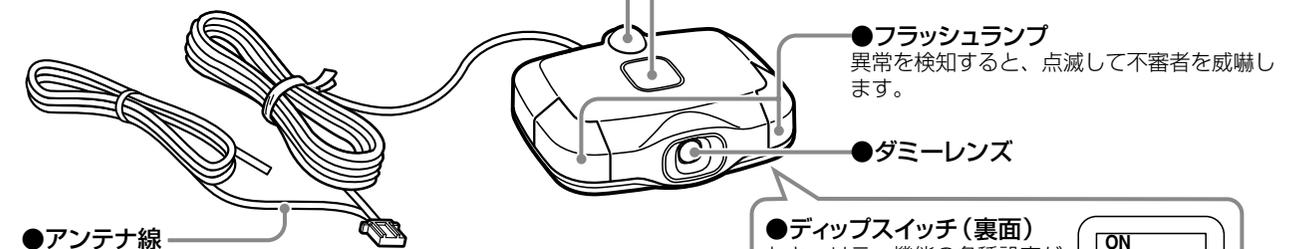
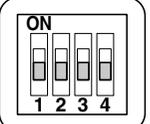
●フラッシュランプ

異常を検知すると、点滅して不審者を威嚇します。

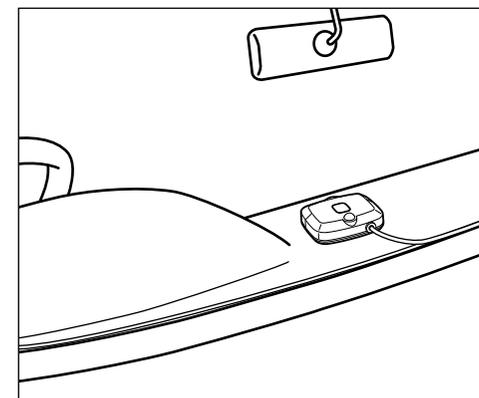
●ダミーレンズ

●ディップスイッチ (裏面)

セキュリティ機能の各種設定ができます。詳しくは「セキュリティ機能の設定」(18ページ) をご覧ください。



●アンテナ線



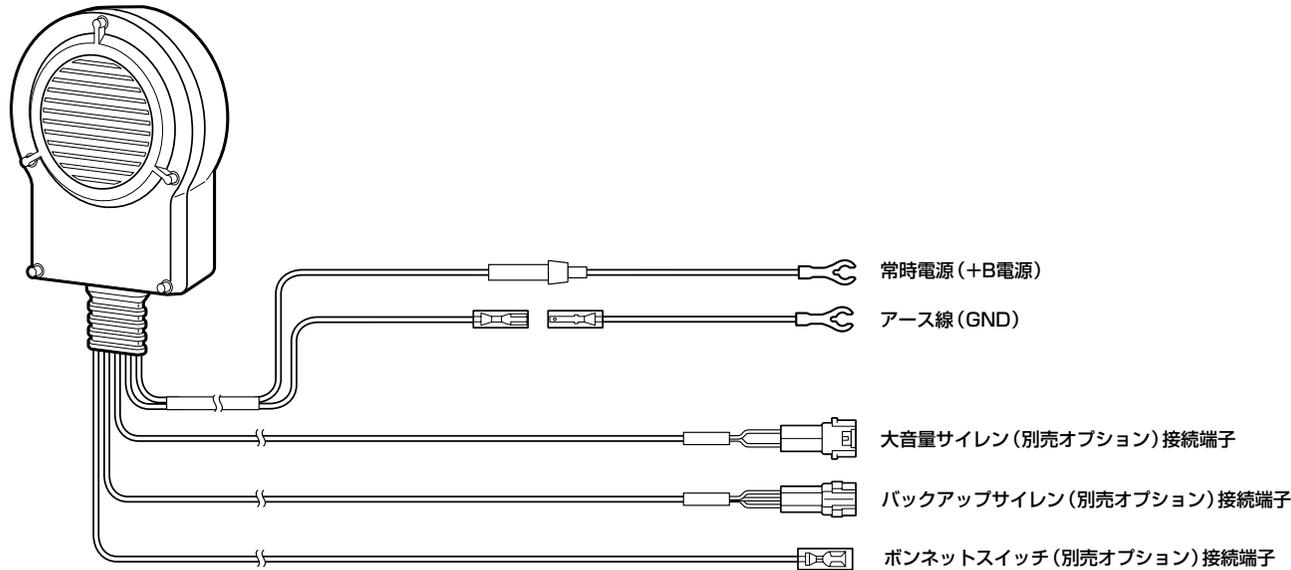
車外から良く見える操作のしやすいフロントダッシュ中央付近に貼り付けてください。

●貼り付け部分をあらかじめクリーニングし、チリや汚れ、脂分などをよく落としてから付属のマジックテープで貼り付けてください。

ボイスユニット(車載機)

エンジンルーム内に取り付ける無線式(電源ライン電送)のスピーカーです。接続線を車室内に引き込むことなく、車輛のバッテリーと接続するだけで、警告、警報を発します。

別売の大音量サイレン：A-26SF、バックアップサイレン：A-27SF、ボンネットスイッチ：A-29SFを車室内に引き込むことなく、簡単にシステムアップできます。



警告、警報の定義

本書は警告、警報を以下の定義で記載しています。

警告

警告は、「車輛への接近」、「覗き込み」、「小さな衝撃」を検知した場合の音または音声です。

『ピッ』または音声などで、車輛への接近に注意を促すとともに、セキュリティの存在を知らせて、犯行を未然に防止します。

警報

警報は、「ドアを開ける」、「車内に侵入する」、「ガラスを割る」、「大きな衝撃」、「ジャッキアップ※」、「ボンネットの開閉※」を検知した場合に、警告後に行う動作です。(※はオプションです)

サイレンを鳴らして、車輛の異常を周囲に知らせます。

警告・警報時には、フラッシュユニットやハザードランプが点滅して、威嚇の効果を高めます。本機の異常検知時の動作については、8ページをご覧ください。



※オープンカーで、ルーフを開けた状態で本機を作動した場合、ドア開を検知できません。(ドアスイッチ接続線を接続してある場合は検知できます)
駐車の際は、できるだけルーフを閉じて、セキュリティを作動させてください。

※本機リモコンでドアロックすると、アンロック後にロック動作を行う場合があります。これは、運転席がロック状態にあると運転席以外のドアがロックされない車輛があり、このような車輛でも、確実にドアをロックするための安全機構です。本機能を解除したい場合は取付店にご相談ください。

メモ

スタンバイ時間とは

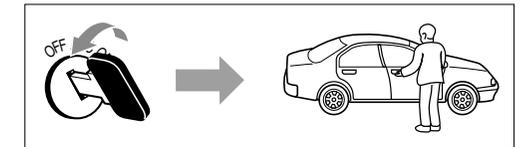
本機リモコンのSETボタン操作後、セキュリティが作動して監視にはいるまでの時間がスタンバイ時間です。
ターボタイマー併用時などは、アフターアイドリング終了後にセキュリティの監視を開始することができます。スタンバイ時間は、工場出荷時に10秒(10秒/1分/3分/5分から選択できます)に設定されています。(22ページ参照)

準備

1 すべてのウィンドウを完全に閉める

※ ウィンドウは、完全に閉めて車内を密閉状態にしてください。すき間があると、気圧の変化を正しく検知することができず、ドア開警報が鳴りません。

2 エンジンを切り(エンジンキーをOFFにする)、降車してドアを閉める

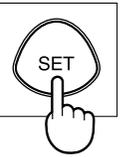


リモコンの操作

3 本機リモコンのSETボタンを押す

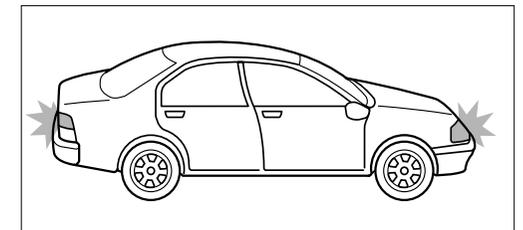
ドアがロックされます。

※一部の車輛では、セキュリティの作動操作でドアロックができません。



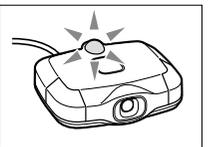
リモコンからの信号を受信すると

4 確認音または音声は鳴り、ハザードランプが1回点滅してスタンバイ時間になる



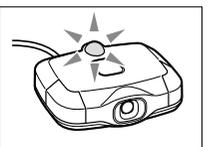
※ 操作の確認方法(19ページ)で、選択した確認方法による動作となります。
※ 確認音はボイスユニットから鳴ります。

スタンバイ時間中はフラッシュユニットのステータスインジケータが速く点滅(1秒間に2回点滅)します。



5 スタンバイ時間を経過すると、監視動作になる

監視動作になると、ステータスインジケータがゆっくりと点滅(2秒間に1回点滅)します。



※ 車輛のエンジンキーOFFで自動的にセキュリティを作動させることはできません。
※ 車輛のエンジンキーまたは純正キーレスリモコンを使用してドアをロックしても、セキュリティは作動しません。

警告音キャンセル機能について

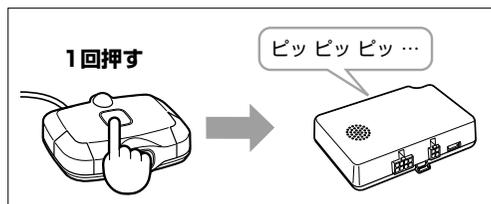
警告音キャンセル機能中は、車輛の周囲を人が歩く程度では、警告音を発しません。衝撃やドア開などの異常では警告・警報動作を行いますので、スーパーの駐車場など、人の出入りが多い場所に駐車するときなどにご利用ください。
 ※警告音キャンセル機能は、セキュリティの作動ごとに設定してください。



警告音キャンセル機能の設定方法

1 エンジンを切り(エンジンキーをOFFにする)、フラッシュユニットのMODEボタンを1回押す

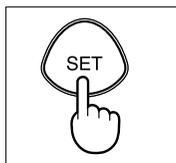
メインユニットが『ピッ ピッ ピッ…』と60秒間連続して鳴ります。



2 降車してドアを閉める

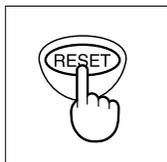


3 MODEボタンを押してから、60秒以内にリモコンのSETボタンを押す



『ピッ ピッ ピッ…』音が止まり、警告音キャンセル機能が設定されます。

●警告音キャンセル機能を解除するには…
 リモコンのRESETボタンを押してください。
 セキュリティの解除とともに、警告音キャンセル機能も解除されます。

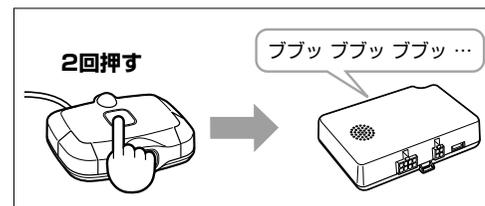


※警告音キャンセル機能を設定している場合でも、車輛の通過など大きな動きや衝撃を検知した場合は、警告・警報を行う場合があります。

セキュリティの作動とドアロックを連動させている場合は、以下の手順で操作してください。また、車輛のエンジンキーや純正のキーレスリモコンを使用して、ドアをロックすると、セキュリティを作動させずにドアロックができます。

1 エンジンを切り(エンジンキーをOFFにする)、フラッシュユニットのMODEボタンを2回押す

メインユニットが『ブブッ ブブッ ブブッ…』と60秒間連続して鳴ります。



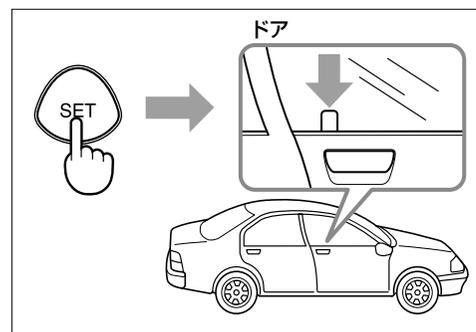
※本機リモコンを使用して、セキュリティを作動させずにドアをロックする場合は、そのたびごとに上記操作を行ってください。

2 降車してドアを閉める



3 MODEボタンを押してから、60秒以内にリモコンのSETボタンを押す

セキュリティはセットされずにドアがロックされます。

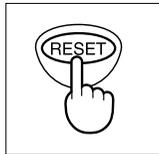


確認音を音声に設定していると、『ドアをロックしました』のアナウンスが流れ、セキュリティは作動しません。



セキュリティを解除する (警報を止める)

リモコンのRESETボタンを押す



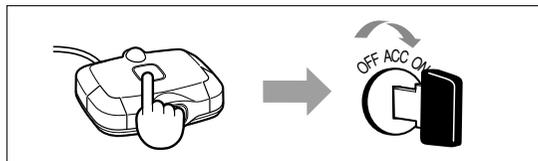
ドアがアンロックされるとともに、確認音または音声が鳴り、ハザードランプが2回点滅してセキュリティが解除されます。

※一部の車両では、セキュリティの解除操作でドアアンロックができません。

※操作の確認方法(19ページ)で、選択した確認方法による動作となります。

リモコンの電池切れや故障などで、リモコンが使用できないときにセキュリティを解除するには

フラッシュユニットのMODEボタンを5秒以上押し続け、ボタンを押した状態のままエンジンキーをACCにする



セキュリティがすべて解除されます。

※電波の状態によっては、1度のリモコン操作では電波を受信できない場合があります。(警報は止まりません)
このような場合は、再度左記のリモコン操作を行ってください。

※本機リモコンでドアアンロック操作後20秒経過しても、ドアの開閉やエンジンキーがACCにならないと、再度ドアをロックするとともに、セキュリティを作動させるリロック機能を備えています。リロック機能の設定・解除の変更は取付店にご相談ください。

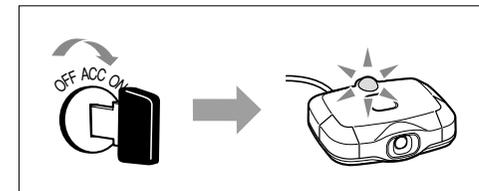
- 別売オプションの無線イモビライザーを取り付けている場合は、無線イモビライザーも解除されます。(キーでエンジンをかけることができます)

警報履歴

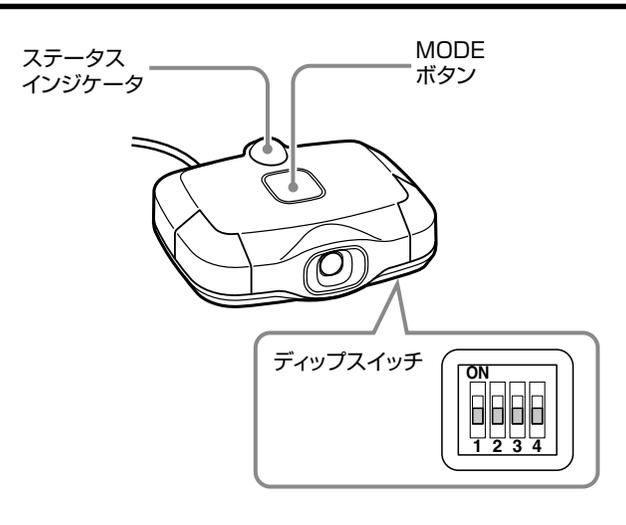
セキュリティ解除後、エンジンキーをACCにすると、監視中の警報回数を、ステータスインジケータの点滅回数とメインユニットのブザー音でお知らせします。

※アクセサリ電源をイグニッションラインに接続した場合は、エンジンキーをONにすると警報履歴を確認できます。

※警告は履歴として残りません。



警報0回	無音 ステータスインジケータは滅警しません
警報1回	『ピーピッ』音とステータスインジケータが1回点滅
警報2回	『ピーピピッ』音とステータスインジケータが2回点滅
警報3回	『ピーピピピッ』音とステータスインジケータが3回点滅
警報4回	『ピーピピピピッ』音とステータスインジケータが4回点滅
警報5回以上	『ピーピピピピピッ』音とステータスインジケータが5回点滅



1 エンジンキーを抜き、セキュリティを解除する

2 フラッシュユニットのディップスイッチ配列を、本書19～23ページを参照して、設定する項目と同じ配列にする

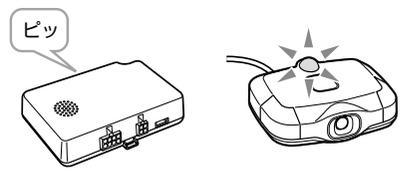
例 確認音の音量を小に変更する場合の操作
ディップスイッチを「ON」「OFF」「ON」「OFF」に配列する。



3 MODEボタンを押して設定を変更する

MODEボタンを押すたびに設定動作が変更されます。メインユニットからの設定音と、ステータスインジケータの点滅回数で設定動作の状態が確認できます。希望する設定動作の設定音が鳴るまで、MODEボタンを数回押してください。

例 確認音の音量を小に変更する場合の操作
MODEボタンを1回押す。
メインユニットが「ピッ」と鳴り、ステータスインジケータが1回点滅します。



さらに他の項目を設定する場合は、続けてディップスイッチを設定したい項目の配列にあわせ、再度、手順3の操作を行ってください

ディップスイッチの配列を変更すると、手順3で変更した設定動作が有効となります。

4 ディップスイッチを、すべてOFF側にする

■オールリセット

項目	ディップスイッチの配列
すべての設定を工場出荷時に戻します。	

すべてのディップスイッチをONにすると「ピーピーピー」と確認音が鳴ります。その状態で、MODEボタン押し続け、連続音「ピー」になったら、すべての設定が工場出荷時の設定に変更されます。

ディップスイッチをすべてOFFに戻してください。

■操作確認を変更する

項目	ディップスイッチの配列	設定動作
<p>●操作の確認方法 セキュリティの作動/解除時の確認方法を選択できます。</p>		<p>MODEボタンを押したとき の設定動作</p> <p>MODEボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"> 確認音のみ: ピッ ※1回点滅 ハザードランプの点滅のみ: ピピッ ※2回点滅 確認音とハザードランプの点滅: ピピピッ ※3回点滅
<p>●確認音の音量 セキュリティの作動/解除時の確認音量を選択できます。</p>		<p>MODEボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"> 音量 小: ピッ ※1回点滅 音量 中: ピピッ ※2回点滅 音量 大: ピピピッ ※3回点滅 音量 最大: ピピピピッ ※4回点滅
<p>●確認音の音色 セキュリティの作動/解除時の音色を選択できます。</p>		<p>MODEボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"> 作動時→ピッ (解除時→ピピッ): ピッ ※1回点滅 作動時→ヒュ (解除時→ヒュヒュ): ヒュ ※2回点滅 作動時→ギュイ (解除時→ギュイギュイ): ギュイ ※3回点滅 音声 作動時→「セキュリティを設定しました」 ※セキュリティを作動させずにドアロック操作を行ったときは、「ドアをロックしました」の確認音となります。解除時→「ドアをアンロックしました」: ピピピピッ ※4回点滅
<p>●ステータスインジケータの点滅設定 セキュリティ作動中のステータスインジケータの点滅/消灯を選択できます。</p>		<p>MODEボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"> 点滅: ピッ ※1回点滅 消灯: ピピッ ※2回点滅

設定方法

設定方法

■警告・警報のしかたを変更する

項目	ディップスイッチの配列	設定動作 MODEボタンを押したとき (□:工場出荷時の設定 ♪:設定音 ※:ステータスインジケータ)
<p>●威嚇方法</p> <p>車輦への接近やうろつき、小さな衝撃を検知した場合の威嚇方法を選択できます。</p>	<p>ディップスイッチ設定 ON ON OFF OFF 1 2 3 4</p>	<p>MODEボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"> 禁止 ♪ ピツ ※ 1回点滅 フラッシュユニットのフラッシュのみ ♪ ピピツ ※ 2回点滅 警告音のみ ♪ ピピピツ ※ 3回点滅 警告音+フラッシュユニットのフラッシュ ♪ ピピピピツ ※ 4回点滅
<p>●ハザードランプの点滅設定</p> <p>異常検知時に車輦のハザードランプを点滅する/しないを選択できます。</p>	<p>ディップスイッチ設定 OFF ON ON OFF 1 2 3 4</p>	<p>MODEボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"> すべての警告・警報でハザードランプの点滅を禁止する ♪ ピツ ※ 1回点滅 警告時のみハザードランプの点滅をする ♪ ピピツ ※ 2回点滅 警報時のみハザードランプの点滅をする ♪ ピピピツ ※ 3回点滅 すべての警告・警報でハザードランプの点滅をする ♪ ピピピピツ ※ 4回点滅
<p>●警告音・警報音の音量</p> <p>警告音・警報音の音量を選択できます。</p>	<p>ディップスイッチ設定 OFF OFF ON ON 1 2 3 4</p>	<p>MODEボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"> 音量 小 ♪ ピツ ※ 1回点滅 音量 中 ♪ ピピツ ※ 2回点滅 音量 大 ♪ ピピピツ ※ 3回点滅 音量 最大 ♪ ピピピピツ ※ 4回点滅
<p>●警報音の音色</p> <p>警報音の音色を選択できます。</p>	<p>ディップスイッチ設定 ON ON OFF ON 1 2 3 4</p>	<p>MODEボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"> キュー ♪ キュー ※ 1回点滅 キュキュキュ ♪ キュキュキュ ※ 2回点滅 ピーパー ♪ ピーパー ※ 3回点滅 ギュインギュイン ♪ ギュインギュイン ※ 4回点滅

項目	ディップスイッチの配列	設定動作 MODEボタンを押したとき (□:工場出荷時の設定 ♪:設定音 ※:ステータスインジケータ)
<p>●警報時間</p> <p>異常検知時の警報時間を 選択できます。</p>	<p>ディップスイッチ設定 ON ON ON OFF 1 2 3 4</p>	<p>MODEボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"> ワンショット警報機能 ♪ ピツ ※ 1回点滅 不審者の動きを検知した場合に、大音量の警報を連続して鳴らすことなく、ワンフレーズの短い警報を鳴らすことができます。不審者の動き等連続して異常を検知している場合には、短い警報が連続して鳴り、不審者を威嚇します。 30秒間 ♪ ピピツ ※ 2回点滅 60秒間 ♪ ピピピツ ※ 3回点滅 120秒間 ♪ ピピピピツ ※ 4回点滅 <p>例)大きな衝撃を検知した場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ワンショット警報機能選択時:『ピピピツ』『衝撃を検知しました。通報します』の後、『キューキュー』のワンフレーズ警報となります。 <p>例)大きな衝撃を検知した場合</p> <ul style="list-style-type: none"> 30秒間を選択時:『ピピピツ』『衝撃を検知しました。通報します』の後、『キューキュー』が約30秒間連続して鳴ります。
<p>●誤動作判別精度</p> <p>小動物その他による誤動作を低減できます。</p> <p>※ 接近警告、衝撃警告に誤動作がある場合は「精度高」を選択してください。「精度高」は接近警告・衝撃警告を「最高精度」と同じ判別で行います。また、警報に失報がある場合は、「精度低」を選択してください。「精度低」を選択しても、警告の精度は「精度中」と同じです。</p>	<p>ディップスイッチ設定 ON OFF OFF ON 1 2 3 4</p>	<p>MODEボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"> 最高精度 ♪ ピツ ※ 1回点滅 精度高 ♪ ピピツ ※ 2回点滅 精度中 ♪ ピピピツ ※ 3回点滅 精度低 ♪ ピピピピツ ※ 4回点滅 <p>※「最高精度」に設定する場合は、必ずドアスイッチ接続線をカーテン(ドアスイッチ)またはドアを開けたときに点灯するルームランプに接続してください。</p> <p>※ 識別精度を低く設定すると、周囲の環境により誤警報する場合があります。環境に合わせて、判別精度を選んでください。</p>

メモ

失報とは、異常が発生しているにもかかわらず、警報が鳴らないことをいいます。

設定方法

設定方法

■セキュリティの作動に関する設定

項目	ディップスイッチの配列	設定動作
<p>●セキュリティの作動を開始する条件</p> <p>セキュリティを作動できる条件を設定できます。</p>	<p>ディップスイッチ設定 ON OFF OFF OFF 1 2 3 4</p>	<p>MODEボタンを押したとき (□: 工場出荷時の設定 ♪: 設定音 ※: ステータスインジケータ)</p> <p>MODEボタンを押す</p> <p>↓</p> <p>車輻のアクセサリ電源がOFFの状態 でセキュリティを作動させることができます 通常はこのモードでご使用ください。 ♪ ピッ ※ 1回点滅</p> <p>↓</p> <p>エンジンキーの状態に関係なく、セキュ リティを作動させることができます ターボタイマーを併用する場合はこちらのモ ードでご使用ください。 ♪ ピピッ ※ 2回点滅</p> <p>↓</p> <p>セキュリティ作動をすべて禁止 車輻の点検、整備の際はこのモードに設定して ください。 ♪ ブッ ※ 消灯</p> <p>※エンジンキーの状態に関係なく、セキュリティを作動させる 場合は、メインユニットのディップスイッチNo.3をONにし てください。</p>
<p>●スタンバイ時間</p> <p>本機リモコンでセキュリ ティを作動させて(SETボ タンを押す)から、監視に はいるまでの時間を選択 できます。</p>	<p>ディップスイッチ設定 OFF OFF OFF ON 1 2 3 4</p>	<p>MODEボタンを押す</p> <p>↓</p> <p>10秒 ♪ ピッ ※ 1回点滅</p> <p>↓</p> <p>60秒 ♪ ピピッ ※ 2回点滅</p> <p>↓</p> <p>3分 ♪ ピピピッ ※ 3回点滅</p> <p>↓</p> <p>5分 ♪ ピピピピッ ※ 4回点滅</p> <p>ターボタイマー併用時などは、アフターアイドル終了時間 を想定して選択してください。 ※ターボタイマー併用時は、メインユニットのディップスイッ チNo.3をONにしてください。</p>
<p>●エンジンスターター動作 時の監視設定</p> <p>弊社エンジンスターター 動作中の監視方法を選択 できます。 ※弊社エンジンスターターで エンジンスターター接続線 と接続した場合に限り、エ ンヂンスターターの動作を 認識できます。</p>	<p>ディップスイッチ設定 OFF ON OFF OFF 1 2 3 4</p>	<p>MODEボタンを押す</p> <p>↓</p> <p>セキュリティ監視を停止 ♪ ピッ ※ 1回点滅</p> <p>↓</p> <p>ドアスイッチのみ監視状態 ※ドアスイッチ接続線の配線がない場合は、警報が鳴 りません。 ♪ ピピッ ※ 2回点滅</p> <p>↓</p> <p>マイクロ波+スーパーセンサーまたはドア スイッチによるドア開検出のみを監視 ♪ ピピピッ ※ 3回点滅</p> <p>↓</p> <p>すべてのセンサーは監視状態にありますが、 威嚇動作(フラッシュ、ハザード、警告)は 停止します。 ※ドア開や大きな衝撃による警報は行います。 ♪ ピピピピッ ※ 4回点滅</p>

■リモコンの追加

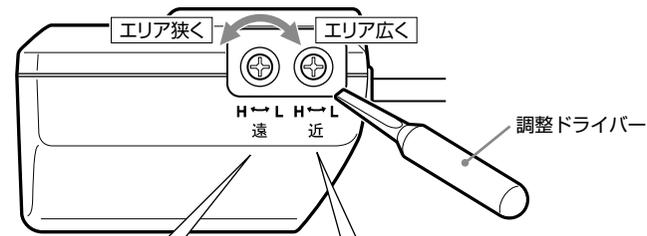
項目	ディップスイッチの配列	設定動作
<p>リモコンを追加するときの 設定モードです。</p>	<p>ディップスイッチ設定 OFF ON ON ON 1 2 3 4</p>	<p>リモコンを紛失、破損したときや、追加をご希望の場合は、弊 社商品の取り扱いのある販売店でお買い求めください。追加手 順については、追加リモコン付属の「リモコンの追加方法」をご 参照ください。 ※リモコンは取り寄せ品となるため、ご注文から数日かかる場 合があります。あらかじめご了承ください。</p>

マイクロ波センサーユニットの感度調整

監視エリアの調整方法

本機を初めて車輻に取り付けた場合は、取り付け車輻にあわせたマイクロ波センサーユニットの調整が必要です。

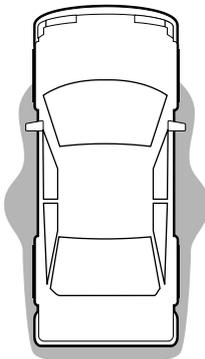
※付属の調整ドライバーを使用して調整してください。



車外監視エリア (警告エリア)

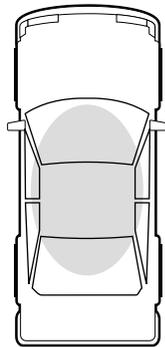
車外監視エリアは車外検知が可能なエリアで、このエリア内の動きを接近と判別して警告します。一般的な乗用車の車外監視エリアは、右図のようなエリアとなることが多く見られます。監視エリアを設定する際は監視エリアの分布と駐車環境を考慮して、調整してください。

※車輻によって監視エリアの分布は異なります。



車内監視エリア (警報エリア)

車内監視エリアは車内検知が可能なエリアで、このエリア内での動きを車内侵入と判別して、警報を鳴らします。覗き込みでは警報が鳴らないように調整してください。



<車外監視エリアの調整方法>

※調整する場合は誤動作判別精度(21ページ)を「精度中」(工場出荷時の設定値)で行ってください。「精度高」または「最高精度」を選択している場合、車輻への接近では警告しません。

- ① セキュリティを作動し、スタンバイ時間経過後、ゆっくりと車に近づき、警告音「ピッ」が鳴ったところで停止し、監視エリアを確認する
車輻の左右、後方向から上記操作を行い、監視エリアの分布を大まかに把握します。チョークなどで印を付けておくと、わかりやすくなります。
- ② 監視エリアを広げる場合は、マイクロ波センサーユニットの「遠」ボリュームをサンバイザーに取り付けた状態で時計方向に回す
監視エリアを狭める場合は、「遠」ボリュームを反時計方向に回します。
- ③ 変更した監視エリアの分布を手順①で確認し、必要に応じて手順②の調整を行う

<オープンカーでご使用になる場合の調整方法>

※調整する場合は誤動作判別精度(21ページ)を「精度中」(工場出荷時の設定値)で行ってください。「精度高」または「最高精度」を選択している場合、車輻への接近では警告しません。

- ① ルーフを閉じる
- ② 車輻を覗き込むような動作で警告が鳴るように、「遠」ボリュームを徐々に時計方向に回す(感度を上げていく)
※車輻への接近で警告が鳴るように調整した場合、ルーフを開けて駐車すると、監視エリアが広がり誤動作の原因となります。ルーフを開けた状態で、車外監視エリアの広がりをご確認ください。

<車内監視エリアの調整方法>

※調整する場合は誤動作判別精度(21ページ)を「精度低」で行ってください。

- ① マイクロ波センサーユニットの「近」ボリュームを反時計方向に少し回す
- ② セキュリティを作動し、スタンバイ時間経過後、ゆっくりと車に近づき、車輻のすべてのウィンドウから車内を覗き込み、警報が鳴らないことを確認する
警報が鳴る場合は、再度「近」ボリュームを反時計方向に少し回し、覗き込みで警報が鳴らないように調整してください。
- ③ 車輻のドアを開け、ドアを開けたとき、または侵入動作(車内に乗り込もうとする動作)で警報が鳴ることを確認する
※車輻のすべてのドアで確認してください。
上記動作で警報が鳴らない場合は、「近」ボリュームを時計方向に少し回し、手順②から再度確認してください。
※ドアを開けたとき、または侵入動作(車内に乗り込もうとする動作)で警報が鳴るように調整すると、覗き込みで警報が鳴ってしまう場合は、ドアスイッチ接続線の接続が必要です。

<オープンカーでご使用になる場合の調整方法>

※調整する場合は誤動作判別精度(21ページ)を「精度低」で行ってください。

- ① ルーフを開ける
- ② 運転席および助手席の物を盗もうと腕を伸ばした状態で、警報が鳴るように「近」ボリュームを徐々に時計方向に回す(感度を上げていく)

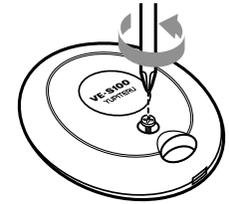
※車内監視エリアを広くしすぎると、車外の動きでも車内侵入と判断し、警報を発する場合があります。車外の動きで警報(サイレン)が鳴る場合は、エリアの設定を狭くしてください。

リモコンの電池交換

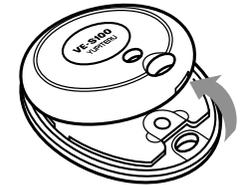
購入時には電池が内蔵されていますのでそのままご使用ください。
リモコンの電池は約2年(1日10回使用)が目安となります。

※リモコン電池は使用期間(約2年)を目安に、早めに市販のボタン電池(CR1616)と交換をしてください。
※付属(内蔵)の電池はモニター用ですので、記載された電池寿命より短い期間で切れることがあります。

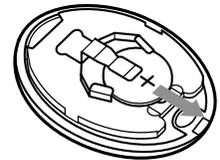
1 リモコンケース裏面のビスを外す



2 ケース下部の溝を開くようにしてケースを開ける

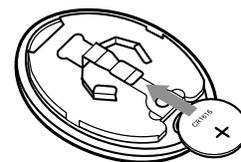


3 電池を取り出す

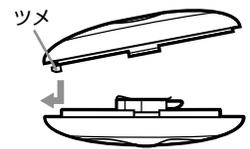


4 新しい電池を入れる

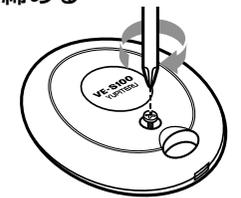
※電池の向きに注意してください。(＋を上にする)



5 3ヶ所のツメを引っかけてケースを閉じる



6 ビスを締める



スリープモードについて

本機は、14日間エンジンを始動(ACCまたはONが検出されない)しないと、車のバッテリーの消耗を防ぐため、スリープモードが働きます。
スリープモードが働くと、本機の機能をすべて停止します。

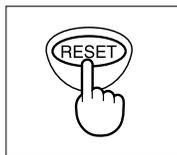
※別売オプションの無線イモビライザーを取り付けている場合は、本機のセキュリティ監視中にスリープモードが働いても、無線イモビライザー機能は維持されます。

スリープモード状態からエンジンを始動するには

1 スリープモードを解除する(キーでドアを開け、エンジンキーをACCまたはONにして、OFFに戻す)



2 無線イモビライザー機能を解除する(リモコンのRESETボタンを押す)



3 エンジンキーで、エンジンを始動する

＜スリープモードを解除するには＞

スリープモードを解除するときは、エンジンキーを使用して、ドアを開け、エンジンキーをACCまたはONにしてから、OFFに戻してください。

※アクセサリ電源線を車輛のイグニッションラインに接続した場合は、エンジンキーをONにしてください。



故障かな?と思ったら

修理をご依頼になる前に、もう一度次のことをご確認ください。それでも異常や故障と思われるときは、お買い上げの販売店、または弊社営業所・サービス部にご相談ください。

症状	チェック項目	実施項目
セキュリティが作動しない。	<ul style="list-style-type: none"> ●セキュリティの作動を開始する条件(22ページ参照)が「セキュリティ作動をすべて禁止」に設定されていませんか? ●スタンバイ時間が経過していますか? ●電池が消耗していませんか? リモコン操作できる距離が短くなった場合は、電池の寿命です。 ●電池が正しく入っていますか? ●車と離れすぎていませんか? ●アンテナ線が小さく丸められたり、金属に触れていませんか? ●配線や接続が正しく行われていますか? ●車のバッテリーが弱っていませんか? ●スリープモードが働いていませんか? 	<ul style="list-style-type: none"> ●セキュリティの作動を開始する条件(22ページ参照)を「セキュリティ作動をすべて禁止」以外に設定してください。 ●スタンバイ時間が経過するまで待つ。スタンバイ時間(監視に入るまでの時間)は10秒/60秒/3分/5分から選択できます。 (「スタンバイ時間」22ページ参照) ●新しい電池と交換してください。 ●正しく電池をセットしてください。 ●電波の届く範囲内でリモコンの操作を行ってください。 ●ゆったりと引き伸ばした状態にしてください。また、金属部には触れないようにしてください。 ●メインユニットのアース線が塗装されていないビスなどに正しく接続されているか確認してください。 ●アクセサリ電源(ACC)の青色線がキーと連動してON/OFFするアクセサリの電源に正しく接続されているか確認してください。 ●バッテリーを充電するか、新品と交換してください。 ●一度、エンジンキーをACCまたはONにしてください。
車輛へ接近しても、衝撃を与えても警告しない。	<ul style="list-style-type: none"> ●誤動作判別精度や監視エリアの調整が正しく設定されていますか? ●セキュリティが監視状態になっていますか? セキュリティ作動後、監視に入るのは、スタンバイ時間(10秒/60秒/3分/5分)経過後です。 ●スリープモードが働いていませんか? 	<ul style="list-style-type: none"> ●「誤動作判別精度」(21ページ)、「マイクロ波センサーユニットの感度調整」(24ページ)を参照のうえ、動作を確認してください。改善が見られない場合は、販売店にご相談ください。 ●セキュリティを作動し、スタンバイ時間経過後に動作を確認してください。 ●一度、エンジンキーをACCまたはONにしてください。
異常がないのに、警報が鳴る。	<ul style="list-style-type: none"> ●誤動作判別精度や監視エリアの調整が正しく設定されていますか? ●スタンバイ時間が、車に合わせて正しく設定されていますか? 	<ul style="list-style-type: none"> ●「誤動作判別精度」(21ページ)、「マイクロ波センサーユニットの感度調整」(24ページ)を参照のうえ、動作を確認してください。改善が見られない場合は、販売店にご相談ください。 ●電動ファン搭載車やターボタイマーを取り付けている車でお使いになる場合は、ファンが回り続ける時間やターボタイマーのアフターアイドルリング時間を見込んで、スタンバイ時間を設定してください。 (「スタンバイ時間」22ページ参照)
キーでエンジンがかからない。	<ul style="list-style-type: none"> ●無線イモビライザー機能が働いていませんか? (別売オプションの無線イモビライザーを取り付けている場合) 	<ul style="list-style-type: none"> ●本機リモコンでセキュリティを解除してください。別売オプションの無線イモビライザーを取り付けている場合は、本機リモコンでセキュリティを解除しないとキーでエンジンをかけることはできません。

別売オプションについて

Aguilas VE-S100は、次のようなオプションを接続することにより、独自のセキュリティシステムを構築することができます。

オプション単体では、自動車用盗難警告・警報装置として機能しません。

無線イモビライザー：A-23SF

セキュリティ作動中、エンジンキーや模造キーではエンジンをかけられないようにして、車輛の盗難を防止します。本機リモコンでセキュリティを解除すると、無線イモビライザー機能も解除されます。

※本機のアクセサリ電源線を車輛のイグニッションラインに接続した場合は、無線イモビライザーとの併用はできません。

メモ

- 無線イモビライザー機能は、本機のセキュリティを作動(SET)後、スタンバイ時間中やスリープモードが働いた場合でも維持されます。
- ユピテルのエンジンスターターを併用する場合は、本機の接続部位(STライン切断部位)よりも車側に、エンジンスターターを接続してください。(取付・接続説明書をご覧ください)セキュリティ作動中でも、エンジンスターターでエンジンを始動し、アイドリングをさせることができます。(アイドリングを開始すると、無線イモビライザー以外の機能は解除されます)

大音量サイレン：A-26SF

警報音を大音量(125dB)にできます。本機のボイスユニットに接続するだけ(車室内への引き込みは不要)で、警報音をパワーアップできます。最大音圧125dB

バックアップサイレン：A-27SF

警報音を大音量(125dB)にできます。さらにサイレンにバックアップ充電電池を内蔵していますので、万一ボイスユニットの破壊やサイレンの切断があっても、警報を鳴らし続けることができます。本機のボイスユニットに接続するだけ(車室内への引き込みは不要)で、警報音をパワーアップできます。

※ボイスユニットの破壊やサイレンの切断時の警報音は6音色の警報が鳴ります。

最大音圧125dB

電子傾斜センサー：A-28SF

セキュリティが作動したときからの傾斜角変化を検知しますので、傾斜地に駐車した場合などでも、正確に車輛の前後、左右1度以上の傾きを検知できます。タイヤ、ホイールの盗難防止、車輛の盗難防止に役立ちます。傾斜を検知すると『ピピピッ』、『傾斜を検知しました。通報します』の警告の後、警報音『キューキューキュー』が設定時間鳴り、フラッシュランプ、ハザードランプが連続して点滅しなくなります。

ボンネットスイッチ：A-29SF

ボンネットが開かれたことを検知します。本機付属のボイスユニットに接続するだけ(車室内への引き込みは不要)で、ボンネットの開閉を検知してサイレンを鳴らします。

※ボンネットスイッチが異常を検知した場合、全て警報となります。警告に設定することはできません。

ドアスイッチ接続線セット：A-30SF

車輛すべてのカーテシ(ドアスイッチ)に分岐するドアスイッチ接続線の4本セットです。

リモコンの追加

付属のリモコンの他にもう1つ(合計2個)リモコンを追加できます。

※詳しくは「アフターサービスについて」(30ページ)を参照してください。

※オプションの仕様は予告なく変更することがあります。詳しくはカタログをご覧ください。

警告

取り付けには専門知識が必要です。誤った取り付けは、機器を破損するばかりでなく、重大事故の原因となります。取り付けは、お買い上げの販売店またはカーディーラーにご依頼ください。お客様ご自身で取り付けられた場合の保証は受けられません。

仕様

■メインユニット

受信周波数	314MHz
電源電圧	12V車専用(9~15V)
消費電流	スリープモード時：約5mA 待機時：約18mA(平均)
動作温度範囲	-20℃~+60℃
寸法	127mm(W)×28mm(H)×87mm(D) (ケーブル含まず)
重量	144g(ケーブル含まず)

■センサーユニット

適合技術基準	特定小電力無線局移動体検知センター用無線設備
発振周波数/出力	24.15GHz/10mW以下(技術基準適合品)
動作温度範囲	-40℃~+85℃
寸法	37mm(W)×33mm(H)×52mm(D)
重量	84g(ケーブル含む)

■フラッシュユニット

動作温度範囲	-40℃~+85℃
寸法	51mm(W)×14.5mm(H)×34mm(D)
重量	63g(ケーブル含む)

■ボイスユニット

最大音圧	サイレン：100dB/m ボイス：89dB/m
動作温度範囲	-40℃~+85℃
寸法	91mm(W)×113.5mm(H)×39mm(D)
重量	334g(ケーブル含む)

■リモコン

送信周波数	314MHz
適合技術基準	微弱無線機
送信出力	500μV/m以下 3m地点にて
使用電池	リチウム電池 CR1616(1個)
動作温度範囲	-10℃~+50℃
寸法	36.7mm(W)×50mm(H)×13mm(D)
重量	11.5g(電池含む)

※仕様や外観などは、改良のため予告なく変更することがあります。

アフターサービスについて

■保証書(裏表紙参照)

保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ年月日」などの記入をご確認のうえ、保証内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

■保証期間

お買い上げの日から1年間です。

- 対象部分
車載ユニット(消耗部品を除く)

■修理を依頼されるとき

「故障かな?と思ったら」の点検をしていただいても、なお異常のあるときは、故障状況をなるべく詳しくご連絡ください。

●保証期間中のとき
恐れ入りますが、お買い上げの販売店に、保証書を添えて製品をご持参ください。保証書の規定に従って修理いたします。

●保証期間が過ぎているとき
取付販売店に、まずご相談ください。修理によって機能が持続できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

■アフターサービスなどについてご不明な点は

お買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部にお問い合わせください。

■リモコンの追加について

リモコンを紛失や破損したときや、追加をご希望の場合は、弊社商品の取り扱いのある販売店でお買い求めください。

※リモコンは取り寄せ品となるため、ご注文から数日かかる場合があります。あらかじめご了承ください。
※リモコンの追加にあたっては、メインユニットにIDコードを登録する必要があります。詳しい手順は追加リモコン付属の説明書をご覧ください。

「取付・接続説明書」や本書にしたがった、正常な取り付け・接続、使用状態で製品に故障が生じた場合は、製品の保証書にしたがって修理いたします。
また、本機取り付けによる車輛や車載品の故障、事故などの付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

<無料修理規定>

1. 表面記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、機器本体及び本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
3. ご転居ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、最寄りの弊社営業所・サービス部へご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
(イ)使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷
(ロ)お買い上げ後の移動、落下等による故障及び損傷
(ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障及び損傷
(ニ)特殊な条件下等、通常以外の使用による故障及び損傷
(ホ)故障の原因が本製品以外にある場合
(ヘ)本書のご提示がない場合
(ト)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
(チ)付属品や消耗品等の消耗による交換
(リ)お客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金
5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
6. 本書は再発行しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

故障内容記入欄

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、最寄りの弊社営業所・サービス部にお問い合わせください。
※弊社営業所・サービス部は30ページをご覧ください。

ユピテルご相談窓口一覧

お問い合わせの際は、製品の機種名をご確認のうえ、使用状況もいっしょにご相談ください。

取付、取扱方法に関するお問い合わせ

受付時間 10:00~18:00 (年末年始等、当社指定期間を除く)

お客様ご相談センター **TEL. (0564)45-6515**

取扱方法、修理依頼、販売店の紹介に関するお問い合わせ

受付時間 9:00~17:30 月曜日~金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

地区	名称・電話番号・所在地
北海道	札幌営業所・サービス部 TEL. (011)618-7071 〒060-0008 北海道札幌市中央区北八条西18丁目35-100 エアリービル1F
青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島	仙台営業所・サービス部 TEL. (022)284-2501 〒984-0015 宮城県仙台市若林区卸町4-8-6 第2喜和ビル1F
栃木・群馬・茨城・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨・新潟・静岡	東京営業所・サービス部 TEL. (03)3769-2525 〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33 芝浦新本ビル3F
岐阜・愛知・三重・富山・石川・長野・福井	名古屋営業所・サービス部 TEL. (052)769-1601 〒465-0092 愛知県名古屋市中東区社台3-181
滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山・徳島・香川・愛媛・高知	大阪営業所・サービス部 TEL. (06)6386-2555 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町53-10
鳥取・島根・岡山・広島・山口	広島営業所・サービス部 TEL. (082)230-1711 〒733-0001 広島県広島市西区大芝2-9-2
福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄	福岡営業所・サービス部 TEL. (092)552-5351 〒815-0032 福岡県福岡市南区塩原3-2-19

- 上記窓口の名称、電話番号、所在地は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
- 電話をおかけになる際は、市外番号などをお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。

保証書

(持込修理)

本書は、本書記載内容(裏面記載)で、
無料修理を行うことを、お約束するもの
です。

保証期間中に、正常なご使用状態で、
故障が発生した場合には、本書をご提
示のうえ、お買い上げの販売店に修理
をご依頼ください。

品番 VE-S100 (マイクロ波センサー搭載レーザーセキュリティシステム)	
S/No.	
お買い上げ	年 月 日
保証期	お買い上げの日より1年
お名前	様
お客様	〒
	TEL.()
販売店	店名・住所
上欄に記入または捺印の無い場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名等を証明するものを、お貼りください。	

無効